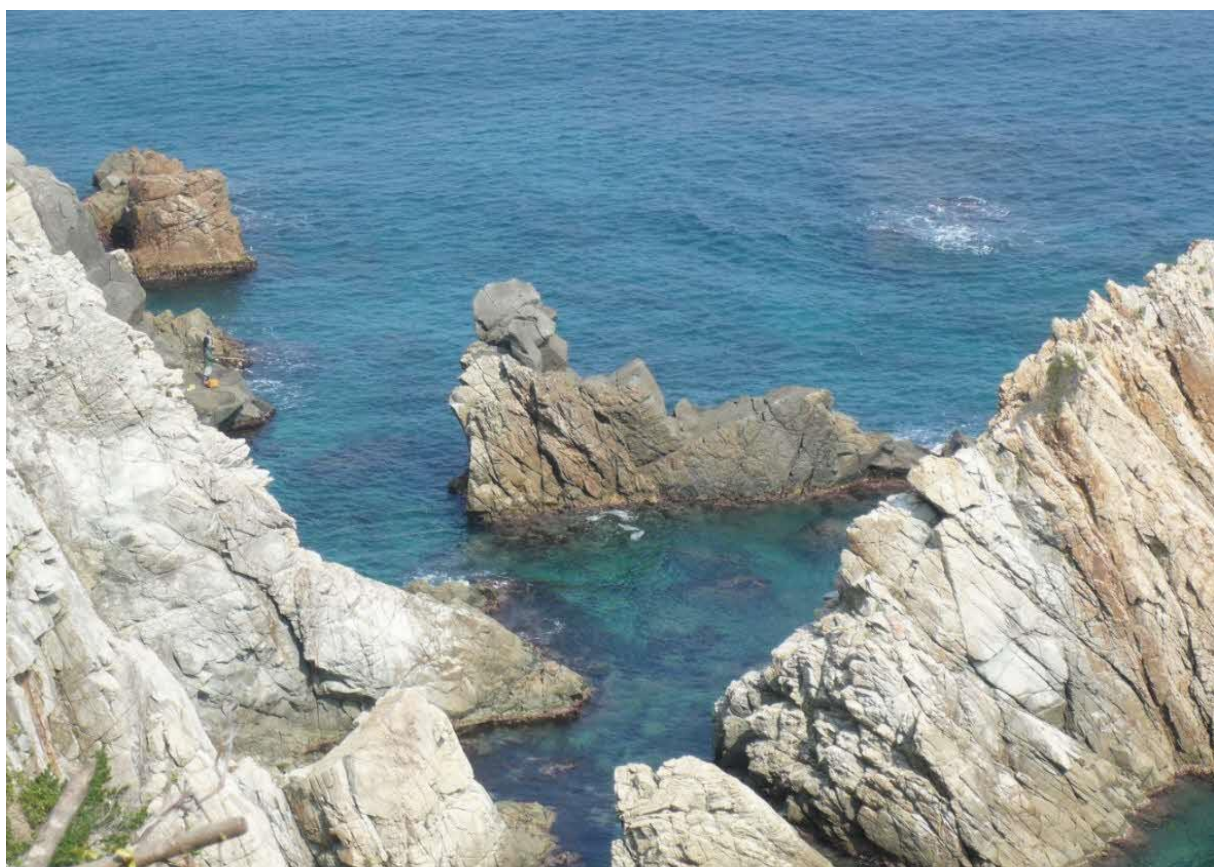


# 島根県益田市小野地区

地域づくりのテーマ:「海・山の恵みを活かす小野の里」



## ①地区の概要

### 【地区の現況】

人口:1,361人 世帯数:631世帯  
高齢化率:49.1% (令和5年1月末時点)

### 【地区の魅力】

小野地区は、島根県西端に位置し、海岸沿いで山口県萩市と接しており、古来「柿本人麿」生誕地として伝承されている。

益田十景にも2ヶ所が選ばれており、人形峠から見る雄大な景観と三里ヶ浜の観音岩から見る夕日は絶賛され、その他小浜の海岸は、東山魁夷画伯が皇居新宮殿及び奈良唐招提寺の壁画のモチーフにした地である。(写真は人形岩の風景)

### 【地区の課題】

少子・高齢化の進行に伴い、拠点となる生活ゾーンの本機能が消失してきており、とりわけ診療施設及び生活用店舗が減少し、生活不安が拡大している。

## ②実施団体の概要

### 【団体の名称】

夢あふれる小野の里

### 【構成団体、構成員】

- 各自治会の会長・副会長
- 地区老人クラブ連合会会長
- 地区食生活改善推進協議会会長
- 地区民生児童委員協議会民生児童委員(女性委員)
- 交通安全協会支部長
- 地区青少年健全育成協議会会長
- 地区更生保護女性会会長
- 地区健康と福祉を推進する会会長
- 商工会支部代表
- 小野中PTA会長
- 一般会員
- 地区民生児童委員協議会会長
- 地区社会福祉協議会会長
- 自主防災組織連絡協議会会長
- 益田市消防団第14分団長
- 地区交通対策協議会会長
- 地区安全を守る会会長
- 地区つろうて子育て協議会代表
- 子ども会代表
- 地区人権・同和教育推進協議会会長

### 【団体の組織図】

#### 《役員会・運営委員会の構成》

(役員会)  
会長・副会長・事務局長  
理事(4名)・部長(3名)  
副部長(3名)

#### 《運営委員会》

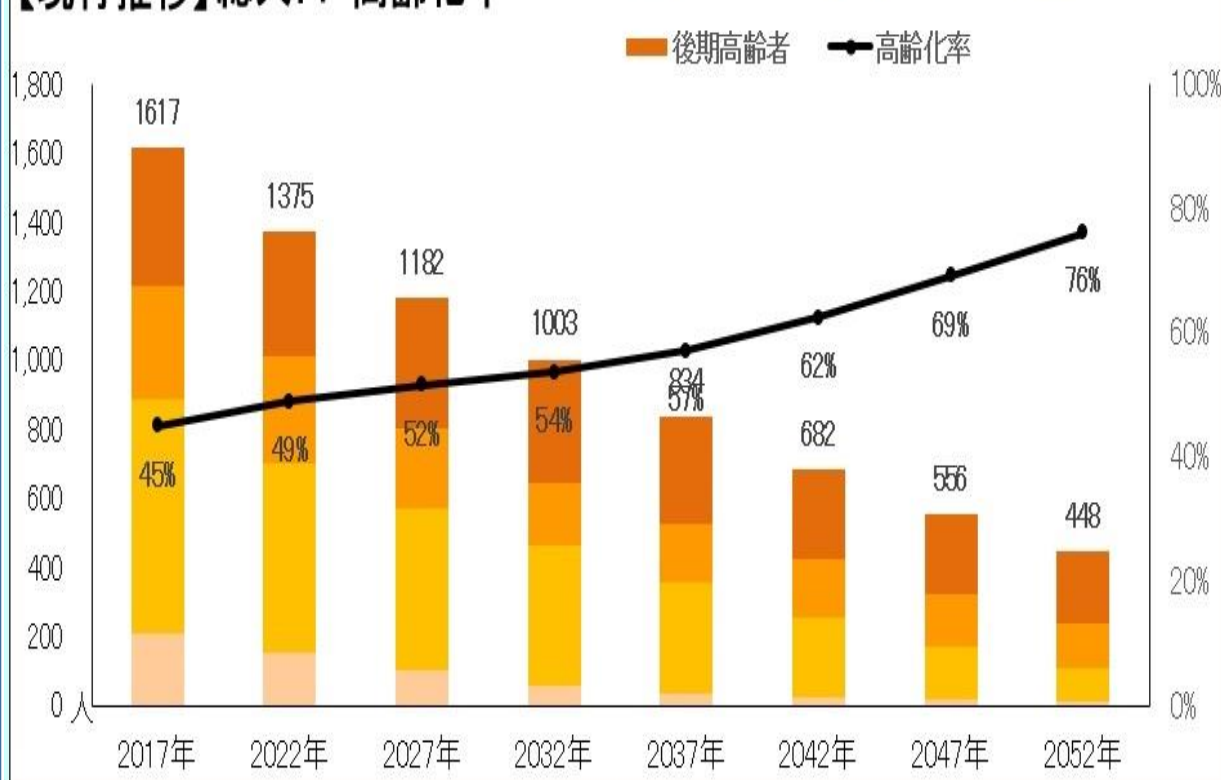
構成員  
(団体代表)  
34名

構成員  
(一般)  
15名

【サポート】  
小野公民館

## ③地区の人口シミュレーション

### 【現行推移】総人口・高齢化率



資料: 島根県中山間地域研究センター「2022人口推計シート」

## ④地域の魅力化に向けた取組

### ■ 小野探訪ウォーキング

平成27年度から毎年各地区持ち回りで会場を設定し、取組んでいる。(令和2年度～4年度はコロナ禍のため中止)

### ■ おの産直市

令和元年度より本格的に取組を開始し、当面は年間3回の開催を目標としている。

(令和2年度～4年度はコロナ禍のため12月に1回ずつ実施)

### ■ 「子ども見守り活動」の実施

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

### ■ 「草刈り隊」の活動開始

令和2年度から活動を開始し、現在も継続実施している。

### ■ 休日カフェ

平成30年度から、地区内有志の方による「まるCafe」を開始した。(令和2年度、3年度はコロナ禍のため活動を休止したが、今年度は規模を縮小して実施)

## 団体長の写真



## 【団体長メッセージ】

この3年間は、コロナ禍のために小野の里の地域活性化の夢は膨らむどころか萎んでしまいかねない危機感と寂寥感を感じています。盆踊りや敬老祝賀会、探訪ウォーキング等の賑わいもなくなり、小中学校の主要行事も地域住民不参加の形に。そんな中でも、「子ども見守り活動」、「おの産直市」、「草刈り隊」、「まるカフェ」等の活動で子どもを含む地域住民との絆を着実に深めている。産直市では引き続き小中学生に参加してもらい、回数と内容をさらに充実していきたい。

(夢あふれる小野の里 会長 大賀 敏郎)



# 島根県益田市小野地区

⑤こんなことが話し合われています。



## 【定例総会】

コロナ禍の中ではありながらも、中学校体育館を会場として通常総会を開催した。今年度からの新たな事業計画となる「第2次地域づくり計画」等について、慎重審議を行った。



## 【防災環境部の会議・取組】

防災環境部では、地区内の「草刈り活動」や、「子ども見守り活動」等について協議・支援を行っている。また、今年度より新たに「鳥獣被害対策」についての取組みとして、アンケート調査を実施した。



## 【健康福祉部の会議・取組】

健康福祉部の取組みとして、地区文化祭において、「検診・健診に関する記事」をパネル展示した。また、「呼びかけ文書」を差し込んだポケットティッシュを配布する等、啓発活動を行った。



## 【生涯学習産業部の会議・取組】

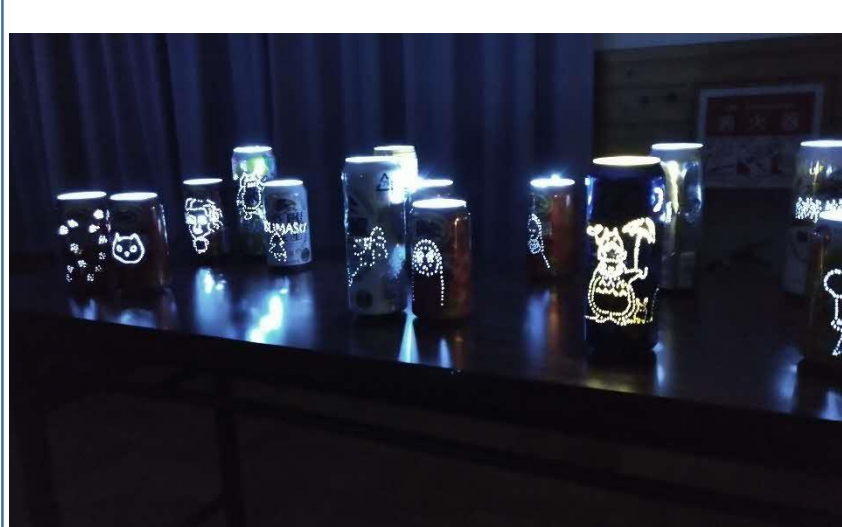
生涯学習産業部では、主に「小野探訪ウォーキング」や「おの産直市」の実施計画等について、協議を行った。

⑥こんな地域づくりを行なっています。



## ■「子ども見守り活動」の実施 (防災環境部会の取組)

地元戸田小学校児童の登下校時の見守りや、日常生活時における「ながら見守り」等を活動内容として、令和2年度より「小野地区子ども見守り隊」活動を実施している。各地区において選任された隊員さんが、コロナ禍にも負けず連日子どもたちと大きな声で「あいさつ運動」を展開されている。



## ■「しゃべり場」の活動 (防災環境部会の取組)

若者の交流の場「しゃべり場」を定期的で開催し、活動内容等について協議を行っている。灯籠の灯りで地域を明るくしようということで、12月に小野公民館において「灯りをともすイベント」を開催した。アルミ缶やペットボトルで作成した灯籠約150個を点灯し、地区内外から多くの方が「夕暮れのともしび」を観賞された。



## ■「おの産直市」の取組 (生涯学習・産業部会の取組)

昨年、一昨年同様に「新型コロナウイルス感染予防」を考慮し、12月に第1回目となる「産直市」を実施した。

当初は「小野探訪ウォーキング」を同日に開催する予定であったが、寒波による悪天候のためウォーキングはやむを得ず中止し、「産直市」は公民館室内で実施した。

集客面を心配したが、販売開始30分前から行列になる程の人出で、地区内外から約170名の方が来場した。また、小野中学校生徒のみなさんが販売等の体験活動に参加し、来場された地域の方と楽しいふれあいのひと時を過ごされたようです。



## ■「まろカフェ」の開店

地区内有志の発起により活動を実施しているが、令和2年度及び3年度はコロナ禍のため活動を休止した。今年度は、7月と12月に各1回ずつ開店し、テイクアウトにより販売した。

来場された地域の皆さんが、「淹れたての香高い本格的なコーヒー」を楽しまれたようです。

お問い合わせ先

夢あふれる小野の里

〒699-3763

益田市戸田町イ501番地

電話・FAX: 0856(28)0001

フェイスブック: @hitomaro201707